令和6年業種別署別労働災害発生状況（5月末累計）

（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

沖縄労働局

業種＼年・署別・局計等	令和6年(5月末累計) 那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	令和5年(5月末累計) 那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	局計対令和5年比較 増減数(人)	増減率(%)
製造業	28	30	9	(1) 6	2	(1) 75	28	26	4	1	1	(0) 60	15	25.0
食料品製造業	13	20	6	(1) 5	1	(1) 45	17	15	4			(0) 36	9	25.0
鉱業						(0) 0						(0) 0	0	-
建設業	29	24	(1) 6	(1) 8	2	(2) 69	34	(3) 29	3	1	5	(3) 72	▽ 3	▽ 4.2
土木工事業	2	7			1	(0) 10	7	4	1		2	(0) 14	▽ 4	▽ 28.6
建築工事業	23	13	(1) 4	(1) 8		(2) 48	17	(2) 21	2	1	2	(2) 43	5	11.6
交通運輸事業	9					(0) 9	7				1	(0) 8	1	12.5
陸上貨物運送事業	25	8				(0) 33	14	5		1		(0) 20	13	65.0
港湾荷役業						(0) 0	2		1		1	(0) 4	▽ 4	▽100.0
林業					1	(0) 1	1			1		(0) 2	▽ 1	▽ 50.0
農業、畜産・水産業	1	2	2			(0) 5	4	1	1		3	(0) 9	▽ 4	▽ 44.4
第三次産業（運輸を除く）	141	91	8	13	17	(0) 270	141	91	18	15	19	(0) 284	▽ 14	▽ 4.9
商業	45	25	4	1	1	(0) 76	43	26		1	4	(0) 74	2	2.7
小売業	26	22	4	1	1	(0) 54	22	22		1	2	(0) 47	7	14.9
接客娯楽業	15	16	3	6	7	(0) 47	14	17	7	4	4	(0) 46	1	2.2
旅館・ホテル	2	4	2	4	3	(0) 15	4	4	4	3	2	(0) 17	▽ 2	▽ 11.8
飲食店	9	10			2	(0) 21	7	9	2		2	(0) 20	1	5.0
保健衛生業	34	17	1	3	4	(0) 59	34	27	5		4	(0) 70	▽ 11	▽ 15.7
社会福祉施設	27	15	1	2	4	(0) 49	25	21	4		4	(0) 54	▽ 5	▽ 9.3
ビルメンテナンス業	11	8		2	1	(0) 22	15	2	2	6	3	(0) 28	▽ 6	▽ 21.4
その他の業種	36	25		1	4	(0) 66	35	19	4	4	4	(0) 66	0	0.0
全産業	(0) 233	(0) 155	(1) 25	(2) 27	(0) 22	(3) 462	(0) 231	(3) 152	(0) 27	(0) 19	(0) 30	(3) 459	3	0.7

（注）1. 労働者死傷病報告により作成したもの。
2. 被災者数の枠の左側（ ）は死亡者数で内数。
3. 「▽」は減少を示す。
4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜（ﾋﾞﾙﾒﾝ除く）、官公署、その他の事業を示す。

令和6年死亡災害発生状況（5月末現在）

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数（規模別）	発生状況
1	宮古	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	その他の食料品製造業	1月中旬	50歳台	50～99	ヤード内において、トラクター・ショベルを運転してサトウキビの運搬作業を行っていたところ、後進中の同車両に被災者が巻き込まれたもの。
2	名護	墜落・転落	足場	その他の建築工事業	1月中旬	20歳台	1～9	RC造4階建てビルの外壁改修工事のため、躯体周囲において単管足場の組み立て作業を行っていた。被災者が屋上から足場の階段で階下へ移動する際、高さおよそ10mの屋上付近の昇降設備から地面へ墜落し、搬送後に死亡したもの。
3	宮古	墜落・転落	足場	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	2月中旬	10歳台	10～29	高さ12.8mの外部足場7層目において、幅木の取り付け作業を行っていたところ、躯体の反対側から墜落したもの。

令和6年度　沖縄県産業安全衛生大会

10月11日（金）14:00～　会場　ラグナガーデンホテル

特別講演　「沖縄県と各都市をつなぐBodySharing技術 体験共有の未来とそのライフスタイル」

講師　玉城　絵美 氏（H2L, Inc.,CEO、琉球大学　工学部　教授）

事例発表　① 安全関係　拓南製鉄（株）　② 健康経営　琉球製罐（株）